

2010年8月

報道関係者各位

社団法人 日本酪農乳業協会

記者発表会のご案内

『牛乳・乳製品摂取とメタボリックシンドローム』に関する 横断的研究結果発表

～日本栄養・食糧学会誌で論文発表。牛乳・乳製品の摂取とメタボの関係の新たなる発見が～

- 日時：2010年8月26日(木) 14:00～15:15(受付開始 13:30)
- 会場：東京ステーションコンファレンス 605号室(千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 6F)
- 出席者：健康科学大学 学長 折茂 肇先生
女子栄養大学 栄養生理学研究室 教授 上西一弘先生

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

社団法人 日本酪農乳業協会(所在地：東京都中央区、以下、j-milk)は、「食生活、生活習慣と健康に関する調査研究会」(代表：折茂肇、健康科学大学学長)とともに、20～60代の乳業メーカー(日本ミルクコミュニティ、明治乳業、森永乳業、雪印乳業)勤務者および家族 8,659人を対象に、“日本人成人の牛乳・乳製品の摂取状況とメタボリックシンドロームの関係”について検討を行うため、横断的な調査を実施いたしました。

近年、食生活の欧米化や運動不足により、肥満、高脂血症、糖尿病、動脈硬化、高血圧などの生活習慣病を患う人が急増しており、その多くは過食や肥満、特に内臓脂肪の蓄積に起因していると言われています。

牛乳や乳製品の三次機能(免疫系や内分泌系などの生体機能を調節する機能)の1つに“肥満防止機能”がありますが、牛乳・乳製品を多く摂取すると“メタボリックシンドロームになりやすい”という誤った認識を持っている人が少なくありません。

そこで、この誤った認識を払拭することを目的に「食生活、生活習慣と健康に関する調査研究会」が中心になり調査を行った結果、牛乳・乳製品の摂取とメタボリックシンドロームの関係の新たなる発見と、数々のトピックスが明らかになりました。なお、本研究結果は、日本栄養・食糧学会誌8月号で論文発表しております。

当日は、論文内容について「食生活、生活習慣と健康に関する調査研究会」メンバーである女子栄養大学 栄養生理学研究室 教授の上西一弘先生にご説明いただきます。

お忙しい折とは存じますが、何卒万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

謹白